
第2章

計画の基本的な考え方

第2章 計画の基本的考え方

1. 計画の基本理念

**みんな宇美の子・地域の子、
いきいき育つ未来の子、
宇美はみんなが育つ町**

本計画は、平成27年度に策定した「第一期子ども・子育て支援事業計画（うみっ子未来プラン）」と同様、子ども・子育て支援法（以下「法」という。）に基づいて策定するものであり、平成17年度に策定した「次世代育成支援対策行動計画（うみっ子未来プラン）」を継承するものとします。

法の基本理念では、子ども・子育て支援は、「全ての子どもが健やかに成長するように支援すること、保護者とともに家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が役割を果たし、協力すること、地域の実情に応じて提供されること」としています。

また、「次世代育成支援対策行動計画（うみっ子未来プラン）」では、子育ては子ども一人ひとりが本来もっている育つ力を伸ばすことであり、子育ての第一義的責任は保護者にあるという基本認識のもとに、家庭・地域等と連携しながら宇美町全体で、明るく元気な未来の宝が育つ環境づくりを進めてきました。このことは、法の基本理念と重なるものです。

したがって、本計画においては、子育て支援事業の目指す方向性である基本理念を、「第一期子ども・子育て支援事業計画」と同様に、本町に暮らすすべての子どもたちが次代の担い手として、家庭や地域・学校で豊かな心を持ち、安全な環境において、たくましく主体的に生きる力をもった次代の親に成長することを目指して、『みんな宇美の子・地域の子、いきいき育つ未来の子、宇美はみんなが育つ町』とします。

2. 基本目標

本計画の基本理念の実現に向けて、次の3つの基本目標を掲げ、総合的な施策の展開を図ります。

基本目標Ⅰ 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

妊娠・出産期から親が安心して子育てに取り組めるように、保護者の心身の健康支援、子育て家庭への経済的支援、子どもの健やかな成長のための健康支援など、子育て支援を充実します。乳幼児期の子どもに対して、質の高い教育や保育事業を安定的かつ総合的に提供していきます。

子どもを育てることが、家族の愛情や絆を深め、親自身の新たな人間形成につながり、生きがいとなるよう啓発を推進します。また、男女がともに子育てに関われるよう男女共同参画社会の形成を進めるとともに、仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスについて啓発を進めて、子どもの成長段階に応じた多様な働き方を選択できる環境づくりを目指します。

ひとり親家庭など個別の状況を配慮して、子育て家庭のセーフティネットとなる支援を進めていきます。

基本目標Ⅱ 子どもの健やかな成長を支える環境づくり

すべての子どもが、いのちの輝きを放ち、健やかに育つよう健康づくり体制の構築、生きる力を育成する教育環境の整備を図ります。異世代交流や体験活動を重ねて、子どもの個性にあった力を伸ばし、次代の社会を担う一員として健全に育まれる生活環境を整えます。子どもの最善の利益を守る観点から、いじめや不登校、子どもの貧困対策など社会的養護を必要とする子どもや家庭への支援体制を強化し、また、障がいのある子どもと家庭への支援の充実を図ります。

基本目標Ⅲ 子どもと子育て家庭を見守り支える地域づくり

校区コミュニティなどの地域全体で子どもと子育て家庭を支えていくために、住民が主体的に子どもの育ちを支えるまちづくりの推進に努めます。地域における子育て支援のネットワークを充実し、社会資源としての人材を育成していきます。子連れで安心して外出できるまちづくりを推進するとともに、子どもの安全を確保するための交通安全教育や犯罪の未然防止に取り組み、子どもを育てやすい生活環境づくりの推進に努めます。

3. 基本的支援

本計画における個別事業の実施にあたっては、次の3つの視点を基本とします。

(1) 子どもの視点

「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指すことを基本とし、子どもの健康と幸せを第一に考えて事業を実施していきます。子どもを独立した人格を持つ権利の主体として尊重し、その権利が保障される環境を整えていきます。特別な支援が必要な子どもに対しては、実情に応じて配慮します。

(2) すべての子どもと家庭を支える視点

子どもが健やかに生まれ育つようすべての子どもと子育て家庭に対して、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない支援が重要です。社会環境の変化や人々の価値観の多様化に伴い、子育て家庭の生活実態も子育て支援への親のニーズも多様化しています。家庭における子育ての不安や負担、孤立感を和らげ、保護者が子どもにしっかりと向き合い、子育てに喜びを感じながら、親として成長していけるよう、子どもと子育て家庭を支える事業を進めていきます。

(3) 社会全体で子どもと子育てを支える視点

子どもは、「社会の宝」です。子育ては未来の社会を築く重要な営みです。子どもの心身の健やかな育ちと子育てを支えることは、本町の将来の担い手を育てることにつながることから、家庭はもとより保育所・幼稚園、学校、企業、行政などの地域社会を構成する人々が、それぞれの役割を担ってつながりながら子どもと子育て家庭を支えることが重要です。地域社会全体で子どもと子育て家庭を応援し、支えていくような取り組みを進めます。